

BUSINESS REPORT 2024

第121期報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2025年3月31日をもちまして、第121期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに第121期報告書をお届けし、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「人間尊重を基本に、新たな価値を創造し、信頼される企業として、地球に優しい社会造りに貢献する」を経営理念に掲げ、自動車及び産業・建設機械用熱交換器のトップメーカーとして、お客様の信頼を獲得してまいりました。

これからも業界をリードする品質の高い商品づくりを通して社会に貢献するとともに、株主の皆様のご支援にお応えすべく、業績の向上に努めてまいります。

なお、当期の配当金につきましては、当事業年度の業績、今後の経営環境並びに事業展開等及び配当性向を勘案し、1株あたり45円50銭（うち中間配当金13円00銭）としております。

また、次期につきましては、2025年5月13日に公表のとおり、年間45円50銭（うち中間配当金22円50銭）を予定しております。



代表取締役社長

木村 裕哲

株主の皆様には、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

事業の経過及び成果

当連結会計年度（2024年4月1日～2025年3月31日）の当社グループ（当社及び連結子会社）の主要市場でありますトラック市場におきましては、部品供給の改善等により日本市場においては需要が堅調に推移しました。

また、産業・建設機械市場におきましては、日本では横ばいで推移しておりますが、地域によりばらつきあるものの、欧米やアジアでの高い金利水準の影響で需要が減少しております。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は340億60百万円となり、前年同期比で6億59百万円（2.0%）の増収となりました。地域別にみると、日本において、産業・建設機械部品販売は前年同期比で減少となりましたが、自動車部品販売は前年同期比で増加となりました。その結果当該セグメントの売上高は前年同期比で増加となりました。海外において、中国では国内市場の需要は弱い状態が続くものの、海外向け輸出品が堅調に推移したことにより前年同期比で増加となりました。一方、東南アジア地域のタイ・インドネシアでは、ローン審査の厳格化やタイ経済の停滞等の影響から商用車を含む自動車部品販売の不調が続き、前年同期比で減少となりました。

利益面におきましては、材料部品の高騰、賃金上昇による人件費の増加など厳しい事業環境は続いておりますが、売上増とあわせて、製造プロセスの効率化など継続的な原価低減活動により、営業利益は17億14百万円となり、前年同期比で3億17百万円（22.7%）の増益、経常利益は19億20百万円となり、前年同期比で3億71百万円（24.0%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は14億22百万円となり、前年同期比で2億58百万円（△15.4%）の減益となりましたが、これは主に前年同期に受取補償金3億47百万円を特別利益、法人税等調整額3億44百万円を計上した影響です。

対処すべき課題

当社グループの経営方針、経営環境及び対処すべき課題等は、以下のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、主に自動車及び産業・建設機械等の動力源から発生する熱を効果的に処理する熱交換器及び車体部品の専門メーカーとして、高性能・高品質な製品の提供を通じて「人間尊重を基本に、新たな価値を創造し、信頼される企業として地球に優しい社会造りに貢献する」を経営理念及び基本方針としております。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、収益性を重視する観点から「売上高営業利益率」を経営指標としております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

先進国を中心に動きが加速しているカーボンニュートラル化の影響もあり、今後、主要市場でありますトラック市場、建設機械市場の環境変化が一段と加速していくと想定しております。

このような状況下において国内・外のメガサプライヤーとの競争に勝ち抜き、成長を遂げるためには、QCDD（品質、コスト、納入、開発）で客先の期待に応え信頼を得ていく体制の確立が急務であると考えております。

①競争力を高め、顧客満足度を向上させた価値ある製品の提供

②市場トレンドに基づいた先行開発力の強化

③環境対応製品を中心とした売上高の拡大

④品質レベルの向上による、信頼される製品品質の実現

⑤あらゆるシステムの最適化と人材育成による業務品質の向上

当社におきましては、2021年5月に公表いたしました中期経営計画「TRS Vision-2025」の達成に向けた活動を鋭意進めてまいります。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当社グループは、「世界最高の製品を提供し、全てのステークホルダーと共に発展し続ける企業となる」をコーポレートビジョンとし、引き続き、取引先のニーズに対応した製品開発に力を入れ、低コスト、高品質の製品供給に努めてまいります。

当社グループの主要市場において、カーボンニュートラル化を含む環境変化が加速していくと想定しております。

当社グループといたしましては、環境変化に順応した経営施策の実行により、企業体質の改善と経営基盤の強化に努めてまいります。具体的な対処すべき課題としては以下のとおりであります。

①製品軸管理による製品競争力向上、将来戦略の実行

②既存拠点、商品を活用した中国、東南アジアへの新規顧客開拓

③xEV、FCVを含む新エネルギー車（NEV）対応商品の開発

④モノづくり力向上施策の実行

⑤SDGs、ESGに対する取り組み

⑥株価や資本コストを意識した経営

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

(単位：千円)

科 目	第121期（当期） （2025年 3月31日現在）	第120期 （2024年 3月31日現在）
資産の部		
流動資産	21,122,106	19,889,152
固定資産	11,796,124	11,739,359
資産合計	32,918,230	31,628,511
負債の部		
流動負債	7,687,305	8,490,865
固定負債	1,280,029	1,234,764
負債合計	8,967,335	9,725,629
純資産の部		
株主資本	17,958,132	16,754,947
その他の包括利益累計額	4,002,625	3,187,677
非支配株主持分	1,990,138	1,960,256
純資産合計	23,950,895	21,902,882
負債純資産合計	32,918,230	31,628,511

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：千円)

科 目	第121期（当期） （2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで）	第120期 （2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,253,485	1,343,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△599,381	△1,261,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△410,817	△311,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	277,088	191,815
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,520,375	△37,453
現金及び現金同等物の期首残高	5,176,813	5,214,267
現金及び現金同等物の期末残高	6,697,189	5,176,813

連結損益計算書（要旨）

(単位：千円)

科 目	第121期（当期） （2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで）	第120期 （2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで）
売上高	34,060,230	33,401,003
売上原価	29,368,105	28,887,959
売上総利益	4,692,125	4,513,043
販売費及び一般管理費	2,977,149	3,115,320
営業利益	1,714,975	1,397,723
営業外収益	226,148	229,191
営業外費用	20,491	78,019
経常利益	1,920,633	1,548,895
特別利益	1,917	357,441
特別損失	169,922	162,462
税金等調整前当期純利益	1,752,628	1,743,874
法人税、住民税及び事業税	364,641	276,047
法人税等調整額	△65,364	△344,886
当期純利益	1,453,351	1,812,713
非支配株主に帰属する当期純利益	30,422	131,645
親会社株主に帰属する当期純利益	1,422,928	1,681,068

連結株主資本等変動計算書

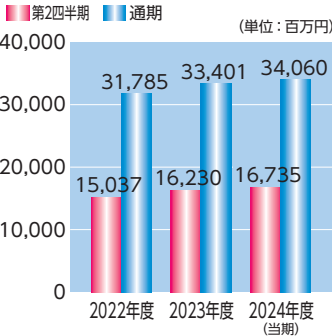
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

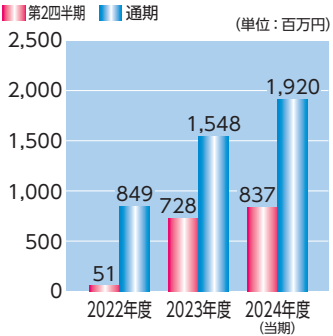
項 目	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,317,600	778,300	18,363,652	△3,704,604	16,754,947	892,149	1,808,945	486,582	3,187,677	1,960,256	21,902,882
当期変動額											
剰余金の配当			△254,071		△254,071						△254,071
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,422,928		1,422,928						1,422,928
自己株式の取得				△35	△35						△35
自己株式の処分		361		34,000	34,362						34,362
自己株式の消却		△2,956,523		2,956,523	—						—
その他資本剰余金の 負の残高の振替		2,956,161	△2,956,161		—						—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						7,937	617,096	189,913	814,947	29,881	844,829
当期変動額合計	—	—	△1,787,303	2,990,487	1,203,184	7,937	617,096	189,913	814,947	29,881	2,048,013
当期末残高	1,317,600	778,300	16,576,348	△714,117	17,958,132	900,087	2,426,041	676,495	4,002,625	1,990,138	23,950,895

連結財務ハイライト

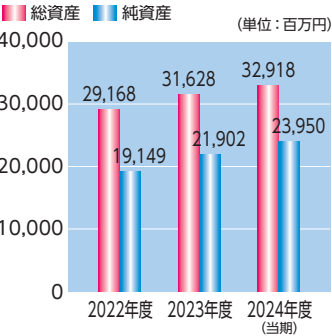
売上高



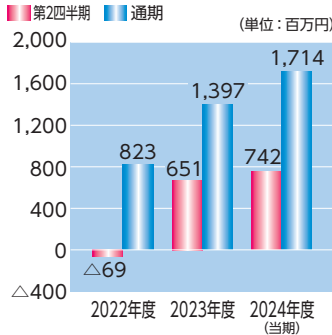
経常利益



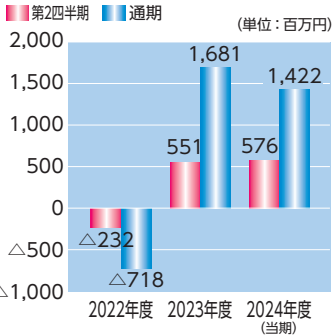
総資産・純資産



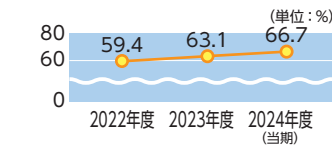
営業利益



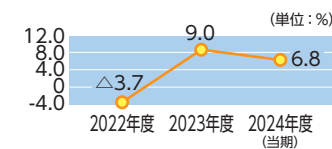
親会社株主に帰属する当期純利益



自己資本比率



株主資本利益率



単体財務諸表

貸借対照表（要旨）

(単位：千円)

科 目	第121期（当期） （2025年 3月31日現在）	第120期 （2024年 3月31日現在）
資産の部		
流動資産	10,671,285	10,321,052
固定資産	9,922,066	10,085,914
資産合計	20,593,351	20,406,967
負債の部		
流動負債	6,984,805	8,346,892
固定負債	132,906	251,413
負債合計	7,117,711	8,598,306
純資産の部		
株主資本	12,575,552	10,916,510
評価・換算差額等	900,087	892,149
純資産合計	13,475,640	11,808,660
負債純資産合計	20,593,351	20,406,967

損益計算書（要旨）

(単位：千円)

科 目	第121期（当期） （2024年4月1日から 2025年3月31日まで）	第120期 （2023年4月1日から 2024年3月31日まで）
売上高	26,564,563	26,143,150
売上原価	23,761,923	23,425,621
売上総利益	2,802,640	2,717,529
販売費及び一般管理費	1,916,132	2,043,855
営業利益	886,507	673,673
営業外収益	1,177,113	886,008
営業外費用	25,131	75,249
経常利益	2,038,489	1,484,432
特別利益	49	355,931
特別損失	2,596	75,932
税引前当期純利益	2,035,943	1,764,431
法人税、住民税及び事業税	184,493	109,391
法人税等調整額	△27,336	△327,776
法人税等合計	157,157	△218,385
当期純利益	1,878,786	1,982,817

株主資本等変動計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

項 目	株 主 資 本									評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
当期首残高	1,317,600	778,300	－	778,300	135,000	12,390,215	12,525,215	△3,704,604	10,916,510	892,149	892,149	11,808,660
当期変動額												
剰余金の配当						△254,071	△254,071		△254,071			△254,071
当期純利益						1,878,786	1,878,786		1,878,786			1,878,786
自己株式の取得								△35	△35			△35
自己株式の処分			361	361				34,000	34,362			34,362
自己株式の消却			△2,956,523	△2,956,523				2,956,523	－			－
その他資本剰余金の 負の残高の振替			2,956,161	2,956,161		△2,956,161	△2,956,161		－			－
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										7,937	7,937	7,937
当期変動額合計	－	－	－	－	－	△1,331,446	△1,331,446	2,990,487	1,659,041	7,937	7,937	1,666,979
当期末残高	1,317,600	778,300	－	778,300	135,000	11,058,769	11,193,769	△714,117	12,575,552	900,087	900,087	13,475,640

【資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について】

当社は2025年3月に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」で
 今後の方針を決定し、公表いたしました。各種施策の実行により株価・企業価値の向上を目指します。

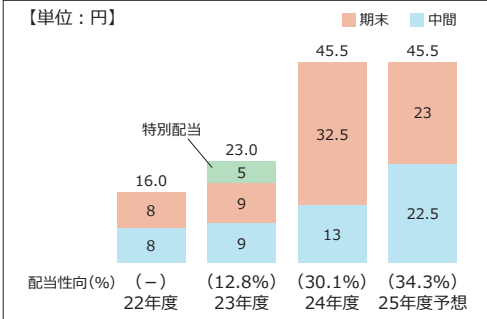
方針と取り組み状況

ROE向上

現中計2025（2021～25年度）の計数目標である連結売上高／営業利益率とともに
 1年前倒しで、達成することができました。今後は更なる企業価値向上実現に向け、
 定量目標含め具体的施策を次期中計（2026～30年度）にて開示予定です。

PER向上

株主還元を重要課題として、業績に応じた配当を継続的・安定的に行うことを基本
 方針とし、配当性向30%以上を目指し活動を進めた結果、24年度は配当性向30.1%
 (45.5円)を実現できました。25年度以降も継続的・安定的に行えるよう活動いた
 します。



詳細につきましては、当社ホームページ「決算説明資料」をご参照下さい

「2025年3月期 決算説明資料」はこちらの2次元バーコードから



国内・海外拠点



国内子会社

株式会社トーシテクノ（東京ラジエーター製造本社内）

海外子会社

無錫塔爾基熱交換器科技有限公司【中国】

重慶東京散熱器有限公司【中国】

PT. TOKYO RADIATOR SELAMAT SEMPURNA【インドネシア】

TR Asia Co., LTD.【タイ】

技術援助先

タイラジエーター製造社【タイ】

PT.スラマト.サンプルナ社【インドネシア】

会社情報

会社概要 (2025年3月31日現在)

社名	東京ラヂエーター製造株式会社
英文社名	TOKYO RADIATOR MFG. CO., LTD.
設立	1938年10月15日
資本金	13億1,760万円
従業員数(連結)	857名
事業所	本社・藤沢工場 〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1 TEL 0466-87-1231 (代表)
営業品目	〈熱交換器〉 ラジエーター、オイルクーラー、インタークーラー、EGRクーラー 他 〈車体部品〉 燃料タンク、SCRタンク、オイルパン、バキュームタンク 他
連結子会社	株式会社トーシンテクノ 無錫塔爾基熱交換器科技有限公司 重慶東京散熱器有限公司 PT. TOKYO RADIATOR SELAMAT SEMPURNA TR Asia Co., LTD.



本社・藤沢工場

役員 (2025年6月26日現在)

代表取締役社長	木村裕哲	常勤監査役	松元良一
取締役	三村健二	監査役 (社外監査役)	伊藤隆治
取締役	吉光真幸	監査役 (社外監査役)	伊東彩
取締役 (社外取締役)	高村藤寿	監査役	田中晃
取締役 (社外取締役)	堀比斗志		

株式情報

株式の状況 (2025年3月31日現在)

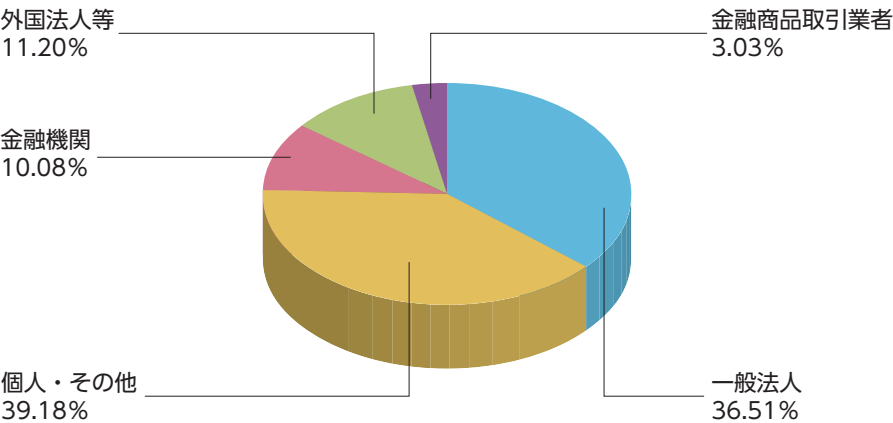
- ◆ 発行可能株式総数 43,200,000株
- ◆ 発行済株式の総数 10,400,000株
- ◆ 1単元の株式数 100株
- ◆ 株主総数 3,883名

◆ 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
マ レ リ 株 式 会 社	1,153	12.22
い す ゞ 自 動 車 株 式 会 社	675	7.16
山 崎 金 属 産 業 株 式 会 社	525	5.57
佐 藤 商 事 株 式 会 社	501	5.31
日 色 隆 善	470	4.98
EUROPEAN DEPOSITARY BANK SA-DUBLIN-BUTTERMERE DEEP VALUE FUND LIMITED	450	4.78
舟 橋 盛 彦	308	3.26
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	300	3.18
日 新 火 災 海 上 保 険 株 式 会 社	300	3.18
INTERACTIVE BROKERS LLC	245	2.60

(注1) 当社は自己株式を966,158株保有しておりますが、上記からは除外しております。
(注2) 持株比率は自己株式 (966,158株) を控除して計算しております。

◆ 株式の分布状況 (所有者別株式比率)



株式についてのご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日	公告の方法	電子公告
配当金受領株主確定日	3月31日		ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告します。
	なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日		
定時株主総会	毎年6月に開催	公告掲載URL	https://www.tokyo-radiator.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先 (お問合せ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

【株主優待制度の新設について】

当社は2024年12月に、SUPER GT 参戦チームへの協賛及び協賛に関連する株主優待制度を新設いたしました。

株主優待制度の概要につきましては、当社ホームページ「株主優待」をご参照下さい。

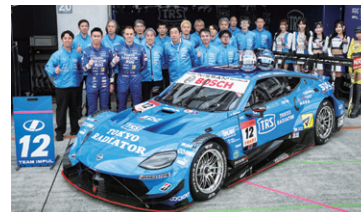


「株主優待」は
こちらの2次元バーコードから

協賛の意義

私たち東京ラヂエーター（TRS）は、モータースポーツが持つ「挑戦」「情熱」「革新」という価値観に深く共感しています。レースの現場では、限界に挑むドライバー、極限まで技術を高めるエンジニア、そして一丸となって成功を目指すチームの姿が繰り広げられます。これらの取り組みは、私たち自身の事業活動においても、実践していかなければならないものです。

私たちは、日本を代表する四輪レースであるSUPER GTに参戦する名門のTEAM IMPULのメインスポンサーとしてサポートすることで、情熱と挑戦をともに分かち合い、成長し続ける企業となり、より良い未来を築くために次なるステージへと進んでいきます。この機会にぜひ、当社ホームページをご覧頂ければ幸いです。



モータースポーツ関連は
こちらの2次元バーコードから

TRS 東京デジター製造株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1
TEL 0466-87-1231（代表）



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

